

進路便り 4月号

○新入生のみなさん、入学おめでとうございます！

高校生活がいよいよスタートしましたね！では、スタートしてどこへゴールしましょう？就職・進学どちらにしても大事なのは自分でチェックポイントを作ることです。

マラソンのように、3年後のゴールに向かって、「何年の何月までに何を出来るようになる」というチェックポイントを設定し、それをクリアするために高校生活で何をすべきか考えて日々を過ごそう。

●この4つを3年間守った人には、必ず将来その成果が自分に返ってきます。

- ・ 遅刻欠席欠課早退をしないこと。
- ・ 日ごろの生活習慣、頭髪、服装、言葉づかいをきっちりすること。
- ・ 授業を大切に、高校での学習内容を身につけること。
- ・ 部活動に加入し、学校行事に積極的に参加すること。

☆ ところで、「企業が求める人材」；採用に際して重視する要素「ベスト5」を知っていますか？

- ①コミュニケーション能力（第一印象・服装頭髪も相手に対するコミュニケーションです）
- ②基本的な生活態度・遅刻厳禁・言葉遣い・あいさつ・マナー・きまりを守る
（校則を守れない者に、もっと厳しい会社のきまりが守れるとは思えません。
基本的な生活態度ができていのかどうかは、欠席日数を見ればわかります）
- ③人柄・性格（自分の長所を伸ばし、短所は改善しましょう）
- ④協調性（仕事はチームでします。部活動に入り、人間関係を高めましょう）

○二年生のみなさん、自分で動き始める年にしよう！

進学する人はもちろん、就職する人も2年生のうちに基礎的な学力をつけておく必要があります。学校行事に部活動、そして資格取得(漢検・英検・介護・農業等)やインターンシップ、ボランティア活動も大切です。最近の入試では、教科外活動の成果や資格が点数評価されるケースもあります。

5月実力テストで入社試験によく使われるSPI形式のテストを行います。（昨年度の本校への求人110社153件の中で、123件は面接以外に何らかの適性(SPIなど)/学科/作文試験がありました。どんな進路を選ぶにしても、最後に決めるのは自分自身です。「まだ一年ある」という意識ではなく、「もう一年しかない」という意識で、自分で動き出す一年にしてください。

○三年生のみなさん、勝負の時です。本気になりましょう！

高校生活最後の年。そして、進路を決定する大切な1学期のスタートです。

AO入試は夏休み、民間就職試験は9月15日、専門学校・短大・四大の推薦入試は10月からスタートします。つまり入学から3年7月までの成績が、君たちの調査書の成績となります。（これは、9月・10月に受験する場合です。）

体育祭後の保護者懇談で、君たちの具体的な進路を相談・決定していきます。「自分は卒業後どのように生きていくのか」をしっかりと考えましょう。説明会や見学会に参加して、必要な資料は取り寄せて目を通しておくこと。特に進学に関しては目標進路と費用の面(奨学金なども含む)を調べて保護者と話をしてください。

☆ 65期卒業生が進路を決定するに当たって参考になった事は…！

オープンキャンパス 進路ガイダンス・講演 進学先の設備・環境
HP・学校案内 先生方との話 先輩の話・意見 応募前職場見学
就職講習 進学講習 就職・進学模擬面接 進路HR・面談など

☆ 65期卒業生から後輩へのアドバイス…

具体的に人生設計を立てる 進路変更を怖がらずに あいさつはしっかりと
面接練習が本番につながるのできっちりやろう 学業に対する意識を向上させよう
将来に備えて勉強は続けよう 学校行事・生徒会活動にも積極的に参加しよう

○字はていねいに書くべきか？

皆さん、字は「ていねい」に書けていますか？もうできている人はそのままの調子で。ドキッとした人は「ペンを正しく持ち」「文字のどの部分がどのようにになっているかを見て」「マネする」この3つをやってみてください。「どーでもいいわ」と思った人、自分の知らないうちに人の評価が下がっているかもしれませんよ。

履歴書、小論文、人に字を見られるとき、中身よりもまず、ていねいに書いていると思われるかどうか。一画一画をゆっくり正確に、適切な大きさの字が書けているか。小さすぎても、大きすぎてもダメなのです。「そんなん、本番にはちゃんとするわ」と思った人、そういう人に限って、本番でもちゃんとできないものなのです。

「本番ではちゃんとする」ためには、日々の努力が必要です。これは字を書くときだけではなく、出席状況、テスト勉強、身だしなみ、全てに関係してきます。「明日から・来年から」ではなく、「今すぐ」始めてください。

*裏面に今年3月に本校を卒業した65期生の進路状況があります。参考にしてください。